

タンクから各階の暖房機への集中給油が可能で、灯油供給の自動化・省力化が図れます。

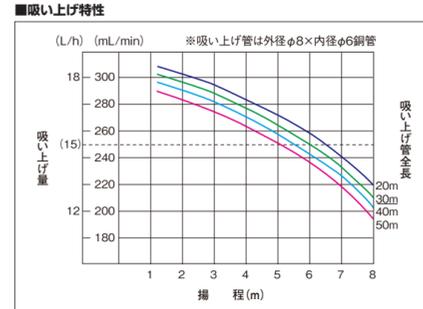
- 1台で灯油を最高10m(805タイプは8m)の高さまで自動給油が可能。
- 操作は簡単。自動給油によりわずらわしさから解放されます。
- 豊富な貯油量で、あふれ防止・空運転防止(302タイプのみ)・過熱防止装置付で安全対策も万全。
- ペーンポンプ方式採用です。
- 本体タンク灯油残量はランプ表示にて確認可能。

- オイルサーバーの吸い上げ量を算出する場合は、燃焼機器の最大燃料消費量合計が、特性図より求めたオイルサーバーの吸い上げ量の1/3を超えないようにしてください。
- 出口側配管はφ8鋼管で長さは30m以下にしてください。
- オイルサーバーから燃焼機器までは自然落差によって灯油が流れます。オイルサーバーの高さは、使用する燃焼機器の工事説明書などに従って設置してください。

OS-805 / 805U 最高揚程8m、吸い上げ量15L/h。低消費タイプ燃焼機器に最適なコンパクトタイプ。



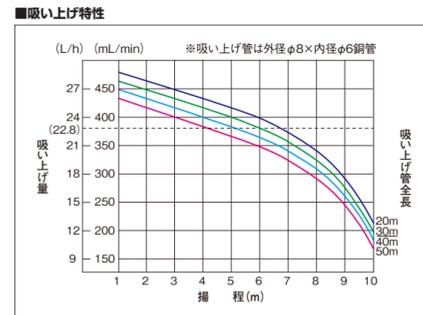
- 屋内据付タイプ**
OS-805 [760364] 4931643 374233
 希望小売価格 ¥39,900 (税抜価格 ¥38,000)
- 屋外据付タイプ**
OS-805U [760366] 4931643 374240
 希望小売価格 ¥42,000 (税抜価格 ¥40,000)
- 揚程 / 最高8m(外径8mm鋼管)
 - 供給能力 / 15L/h以上(揚程6m)
 - 供給燃料 / 灯油(JIS1号灯油)
 - 貯油槽容量 / 使用最大時0.53L
 - 電源 / AC100V-50/60Hz
 - 消費電力 / 10/11W(最大)
 - 質量(重量) / 約3.3kg
 - 安全装置:ダブルあふれ防止スイッチ、過熱防止装置
 - 配管方法:外径φ8鋼管を付属の鋼管継手(ジョイントナット)とリングにて接続



OS-302 / 302U 最高揚程10m、吸い上げ量22.8L/h。高所の設置も可能なオールマイティータイプ。



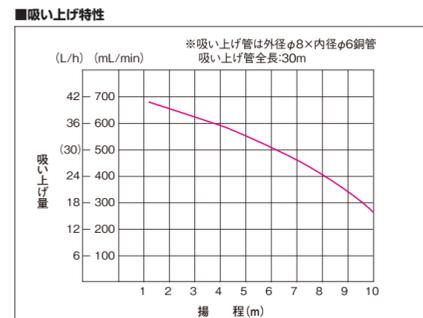
- 屋内据付タイプ**
OS-302 [760360] 4931643 374219
 希望小売価格 ¥49,350 (税抜価格 ¥47,000)
- 屋外据付タイプ**
OS-302U [760362] 4931643 374226
 希望小売価格 ¥51,450 (税抜価格 ¥49,000)
- 揚程 / 最高10m(外径8mm鋼管)
 - 供給能力 / 22.8L/h以上(揚程6m)
 - 供給燃料 / 灯油(JIS1号灯油)
 - 貯油槽容量 / 使用最大時2.5L
 - 電源 / AC100V-50/60Hz
 - 消費電力 / 18/20W(最大)
 - 質量(重量) / 約4.4kg
 - 安全装置:ダブルあふれ防止スイッチ、空運転防止装置、過熱防止装置
 - 配管方法:外径φ8鋼管を付属の鋼管継手(ジョイントナット)とリングにて接続



OS-302UP 最高揚程10m、吸い上げ量30L/h。大型ボイラーにも使用可能なビッグな供給能力。

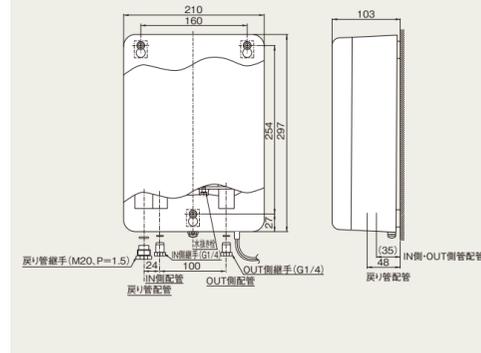


- 屋外据付タイプ**
OS-302UP [760368] 4931643 374257
 希望小売価格 ¥56,700 (税抜価格 ¥54,000)
- 揚程 / 最高10m(外径8mm鋼管)
 - 供給能力 / 30L/h以上(揚程6m)
 - 供給燃料 / 灯油(JIS1号灯油)
 - 貯油槽容量 / 使用最大時2.5L
 - 電源 / AC100V-50/60Hz
 - 消費電力 / 18/20W(最大)
 - 質量(重量) / 約4.4kg
 - 安全装置:ダブルあふれ防止スイッチ、空運転防止装置、過熱防止装置
 - 配管方法:外径φ8鋼管を付属の鋼管継手(ジョイントナット)とリングにて接続

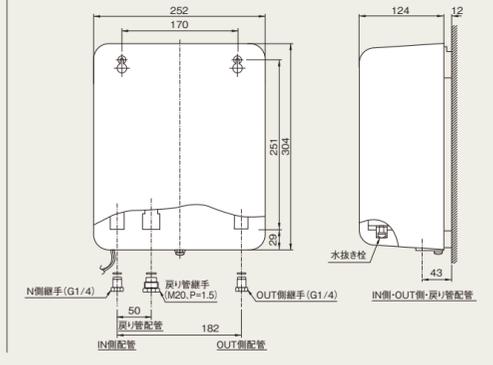


- オイルサーバーにはあふれ防止スイッチを内蔵しておりますが、さらに安全性を高めるため戻り管を配管してください。また戻り管を必ず接続しなければならない地域もありますので、各地の消防署にお問い合わせください。

■寸法図 OS-805 / 805U

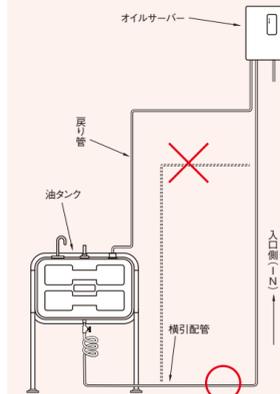


OS-302 / 302U / 302UP

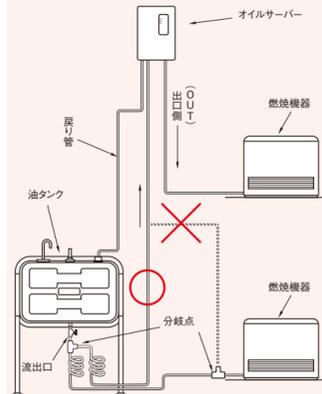


⚠ 配管上の注意 [一般的な油タンクの場合]

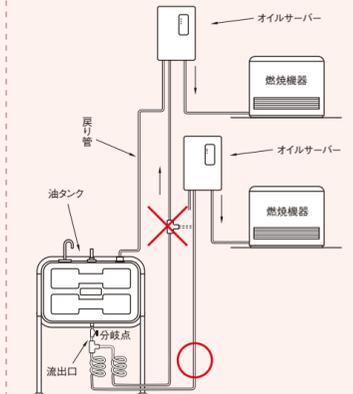
入口側(IN)の横引配管はできるだけ油タンクの下で行い、空気漏れを防ぐためなるべく継ぎ目を設けないようにしてください。



油タンクから1階燃焼機器へは自然落差、2階燃焼機器はオイルサーバーによる給油のため、配管の分岐を油タンク灯油流出口直下付近で行ってください。燃焼機器近辺での分岐は、1階燃焼機器側への給油不足になり燃焼トラブルの原因になります。



オイルサーバーを2台以上設置する場合は、立ち上がり配管途中での分岐をせずに、油タンク灯油流出口直下付近で行ってください。



油タンク1基から数台のオイルサーバーに供給する場合は、必ず油タンク底面線より下で太い横引配管を取り、各オイルサーバーに分岐してください。

